



鶏鳴 けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『平和を実現する人々は幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる』
聖書(マタイ福音書5章9節)

牧師 河合裕志

として核兵器のない世界に向けて指導的役割を果たすこと。

ところで平和は個人と個人の間においても望まれていること。夫と妻、親と子、兄弟の間において仲の良いことが望まれる。隣り近所、勤め先、学校、およそ人の集まる所において平和な関係が。

それは望ましいことだけれど時に争い事が起る。いつもいつも波穏やかにという具合には行かない。そんな時どうする。紛争を解決する手段としては武力、つまり暴力を用いないこと、ゲンコを振り上げないこと。口があるんだから言論によること。努めて冷静に自己の主張を述べ、相手の言い分にも忍耐をもって耳を傾けること。お互いに自己絶対化を避け解決の糸口を探ること。

この方法で自身の紛争解決に当る、あるいはAさんとBさんの調停に当る。それでもなかなかラチが明かない場合には弁護士や裁判所の世話になる。

こう考えて来ると平和を実現することは容易でない。しかしイエスはそれに向って一歩でも半歩でも進むことを期待。そして神の子と呼ばれる者になりなさいと。ああイエスよ、私達を助け平和実現力を少しでもあたえてください。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

英語聖書を読む会：日曜日午前9時半

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

平和を実現する人々とは強い言葉。平和を愛する人々ぐらいでいいのに。平和を実現する、作り出す、そういう人になれとイエスは強く促す。

平和って何？ 戦争がない状態。全く戦争ぐらい怖いものはない。悲惨なものはない。わが国は今日までいくつもの戦争を行って来た。最後には太平洋戦争。沢山の若い人々が戦争に駆り出された。今なお外地で戦い、戻って来ない骨が沢山ある。内地でも空襲や原爆で多数の人々が死んだ。その数310万人とも。わが国の侵略により命を落した人々の数も大変なもの。

とに角戦争だけはしちやいけない。もう戦争はコリゴリ。この痛い痛い体験から日本国憲法第9条が生まれたのでは？ 「日本国民は…戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」。実に思い切った表現。この言葉は310万のおびただしい屍の上に立つ墓標に刻まれているよう。

わが国の行く道ははっきりしているのでは？ この9条をクルマと共に輸出して広めて行くこと。国際紛争を解決する手段として国連の機能を強化しそのための人材とお金を惜しまないこと。また唯一の被爆国